

新型コロナウイルス感染症 対策に関する追加要望

戸田市議会会派 戸田の会

酒井 郁郎

浅生 和英

佐藤 太信

矢澤 青河

令和2年4月7日

戸田市長 菅原 文仁 様

先に新型コロナウイルス感染症への対応について要望した。その後、さらに感染ならびにその社会的影響の拡大が進んでおり、日々新たな対応が必要な状況と認識する。そこで、以下の対応を早急に検討するよう要望する。

周知啓発

- 総合的な電話相談窓口の開設と、感染が疑われる市民のみならず予防対策等の疑問を含む案内の実施
- 広報車両や青色パトロールを活用した周知啓発と、積極的な働きかけ（多人数での立ち話等に解散を働きかける等）
- 防災無線の柔軟な活用
- 関連情報チラシの作成とタイムリーな戸別配布の実施
- 下記のような内容の、市民への周知啓発広報の強化
 - 市役所の対応内容まとめ
 - 市内医療環境情報
 - 今後の感染拡大や市民生活の見通し
 - 風邪症状から相談受診までの過程
 - 感染者、感染が疑われる方を想定した、家庭内の診断、隔離、治療の指針

- マスクの自作方法
- 各家庭における正しい備蓄の方法（品目、数量等）

市役所対応

- 職員のテレワークの環境面、制度面双方からの推進
- 職員の感染予防対策の強化
- 基金の機動的な活用等、財政出動の柔軟化
- その他、市民の必要や要望に即した機動的対応
- 彩湖道満グリーンパークの広場等の密集状態の緩和
- 人材・物資の柔軟な活用（例、給食調理員→学童に派遣、給食材料→保育所へ提供など）

経済

- 市内事業者の状況の把握
- 市内の商工業・飲食業等、特定業種への支援強化（業務量の低下、自主休業時の補填等）
- 発注事業者への工期や納期等についての柔軟な対応
- 市民税の納期限の柔軟化、減免
- テレワーク推進（設備投資額に応じて税軽減）
- 失業者、非正規雇用など収入がない方のための生活支援

- 期間限定の買い物券の発行

病気対応

- 風邪症状から相談受診までの指針策定
- 家庭内診断と感染時の家庭治療の指針策定
- 軽度感染者、回復者への支援
- 国、県、医師会、医療機関などの関係団体との連携

高齢者、障がい者、要支援者等

- 市内医療機関や高齢者施設への支援（ニーズの把握と積極的な支援提示）
- 市民の運動不足等、健康障害の予防（啓発強化）
- 高齢者、障がい者のデイケア、障がい児のデイサービス等の不足に対応した、居場所
や清潔の確保維持
- 心のケア強化（自殺防止、精神相談など）
- 介護・福祉施設、幼稚園保育園等における必要物資（マスク、消毒液等）の確保支援

子ども

- 学校再開日程の慎重な判断
- 式典や部活動等の全面中止
- リモート授業環境の早期整備

- 在宅学習環境の整備（宿題を出し、チェックする仕組み作り）
- 虐待防止への対応強化
- 子どもの運動、外遊び、習い事などに関する方針の明確化
- 学校での一時受け入れや校庭開放における感染予防強化
- 通勤勤務者を除く、保育所、学童保育の利用禁止の強化
- 保護者からの相談・問い合わせ窓口の設置、窓口設置における LINE 等 SNS の活用